

農政連宇城総支部活動報告

女性部とJA役職員との意見交換会

女性部はJA事業に対する意見や要望を直接聞いてもらおうとJA本所で、JA役職員との意見交換会を開きました。女性部役員7人とJA役職員16人が出席。営農指導部門や信用部門などJA事業全般に対する質疑は19項目を超え、多くの建設的な意見を交わしました。

同部の守田フジ子部長は「意見交換を通して、JA事業の理解促進と女性部活動の充実につなげていきたい」と挨拶。施設内設備の充実や職員の接客対応、事業活動方針など内容は多岐に渡り、役職員が丁寧に回答しました。



▲多くの意見が交わされた意見交換会

あぐりキッズスクール「収穫祭」

JA熊本うきあぐりキッズスクールで昨年12月に収穫祭を開き、参加したキッズ生67人がもちつきを体験しました。保護者への参加も呼び掛け、総勢約150人近い参加者で会場は賑わいました。

もち米は、キッズ生たちが6月に田植えを行ったもので、青壮年部と女性部がもちつきやもちの丸め方を指導。保護者も子どもたちと一緒にもちを丸め、きな粉や砂糖醤油、あんこなど様々な具材で試食しました。さらに、丸めたもちを使った雑煮、10月に収穫したイモを使った天ぷらも味わい、児童たちは「おいしい!」と笑顔で食べました。



▲青壮年部や女性部の指導でキッズ生がもちつき体験